

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 12 日

事務事業名		シトラス管理事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020203000645
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け						生涯学習課	
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進						生涯学習課	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進						グループ	
手段名		O3 ③生涯学習・文化施設の活用						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	10	05	02	06	00	シトラス管理事業	
								単年度繰返し (平成12年度~)	
								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		桜川市大和ふれあいセンターの設置及び管理等に関する条例、桜川市大和ふれあいセンターの設置及び管理等に関する条例施行規則							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市大和ふれあいセンター(通称：シトラス)の維持管理及び貸館業務 ・休館日は、月曜日、祝祭日、年末年始(12月28日から1月4日) ・開館時間は、午前9時~午後5時(夜間利用がある場合は午後10時) ・現在、貸館利用できるのは、ホール・小会議室・レッスン室 ・利用料金は市民、市民以外、用途(営利等)によって異なる	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用申請の許可、利用料金の徴収(随時)</li> <li>施設管理に必要な業務委託契約(主に4月)</li> <li>施設設備の管理及び不具合の対応、修繕等(随時)</li> <li>委託料、光熱水費、修繕費等の支払い(随時)</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
使用申請の許可 施設設備の維持管理	開館日数	日	288.00	292.00	292.00	290.00	290.00
	使用日数	日	140.00	150.00	160.00	170.00	180.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市民	人口	人	38,422.00	37,653.00	37,269.00	36,885.00	36,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
利用価値のある施設として多くの人に認識を高め、芸術文化活動を行う施設として利用してもらう	利用件数	件	223.00	400.00	400.00	410.00	420.00
	利用人数	人	5,449.00	12,725.00	15,000.00	17,500.00	20,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	300	399	410	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	18,111	22,026	13,792	
		事業費計(A)	千円	18,411	22,425	14,202	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
10 需用費	7,250		10 需用費	8,422	
11 役務費	162		11 役務費	162	
12 委託料	5,142		12 委託料	5,166	
13 使用料及び賃借料	304		13 使用料及び賃借料	254	
14 工事請負費	9,543		14 工事請負費	174	
18 負担金補助及び交付金	24		18 負担金補助及び交付金	24	
合 計			合 計		
22,425			14,202		

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用申請の許可、利用料金の徴収(随時)</li> <li>施設管理に必要な業務委託契約(主に4月)</li> <li>施設設備の管理及び不具合の対応、修繕等(随時)</li> <li>委託料、光熱水費、修繕費等の支払い(随時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用申請の許可、利用料金の徴収(随時)</li> <li>施設管理に必要な業務委託契約(主に4月)</li> <li>施設設備の管理及び不具合の対応、修繕等(随時)</li> <li>委託料、光熱水費、修繕費等の支払い(随時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用申請の許可、利用料金の徴収(随時)</li> <li>施設管理に必要な業務委託契約(主に4月)</li> <li>施設設備の管理及び不具合の対応、修繕等(随時)</li> <li>委託料、光熱水費、修繕費等の支払い(随時)</li> </ul>

事務事業名	シトラス管理事業	事務事業No.	20203000645	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 旧大和村時代の平成12年に竣工。平成17年の町村合併当初は企画課にて管理運営。平成24年の機構改革により企画課から生涯学習課へ移管された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 文化施設としての利用率の向上が求められている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 文化施設として認識が高まれば、市民が芸術文化に親しむ活動が活発になる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 文化施設として価値を高めていく。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある さまざまな機会に団体・企業にPRし、利用率の向上を図る必要があるため、向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 利用者も増え、市民の認知度も高まりつつあるため、廃止・休止は影響がある。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 公民館と違い、営利団体の利用が可能な施設なので統廃合はできない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 維持管理に必要最低限の予算であり削減の余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内・市外に関わらず誰でも利用が可能であり、受益の機会も平等である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	令和4年度は昨年度に比べ、利用件数及び利用人数が増加しコロナ禍以前の水準に戻りつつある。 現在、市の行事や大和中学校の体育館の代用としての利用が多くみられる。 また、竣工から23年ほど経過しており、設備の大規模な更新や修繕等が必要となっている。(照明のLED化等)																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内・市外問わず利用でき、且つ営利目的での利用も可能なため、さまざまな機会に団体・企業にPRし、利用率の向上を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑤																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認